

市交際費の支出状況

令和元年8月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔慰	今月分	30	55,500
	累計	37	103,500
見舞い	今月分	1	18,067
	累計	1	18,067
御祝	今月分	5	14,600
	累計	25	117,300
賛助	今月分	0	0
	累計	2	9,000
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接遇	今月分	1	4,500
	累計	8	88,014
会費	今月分	2	11,500
	累計	12	44,500
その他	今月分	0	0
	累計	2	7,200
合計	今月分	39	104,167
	累計	87	387,581

※くわしくは市のホームページに掲載しています

問い合わせ 総務課 秘書係  
☎75-2115

市長コラム

「同和問題と水俣病」

先日、熊本県で人権・同和教育の研修会があり、特別講座の「水俣病当事者に学ぶ」に参加しました。

水俣病は、チッソ水俣工場から出された有機水銀が原因で引き起こされた公害です。しかし、当時は遺伝病や地域の風土病などと思われる偏見があり、その家族が水俣に住んでいるというだけで、結婚や就職などで差別されてきたという悲しい歴史があります。水俣病が公式認定されて63年の年月が過ぎても、患者への救済はまだまだ課題が残っています。

水俣病で差別された歴史を

tomon i kiru

繰り返さないためにと、胎児性患者がスイスのジュネーブで開催された「水俣条約締約国会議」で、水俣病は終わっていないと世界に向けて訴えてこられました。水俣病への差別と偏見が、無知や無理解によって生まれたと考えられると、同和問題とよく似ている所があります。

同和問題を知らない人たちは、過去の問題だと言ったり、知らない人に言ったりするから余計に知って差別するなどと言います。果たしてそうでしょうか。

水俣病の当事者の思いを知り、改めて同和問題を正しく知ることの重要性を感じました。一人ひとりが正しく理解を深め、偏見や差別をなくしていくことが大切だと思います。

社会教育指導員 木村博重

Message for citizen



市長コラム



まず被災された方々にお見舞い申し上げます。

8月28日に大雨特別警報が発令された豪雨で、市内にも大きな被害が発生し、NHK全国ニューストップで多岐市の様子が報じられました。記録的短時間大雨情報から間もなく特別警報に災害対策本部は河川の越流・氾濫、人家損壊、山林・道路・河川の被害、場合によれば負傷者等も想定し、覚悟をもって対策に総力を投入しました。

人身に及ぶ被害はなかったものの、激甚災害指定（公共土木・農林災害）の方向です。それほど被害が大きかったです。9月18日現在で、市道140か所、河川80か所、林道19路線で104か所、農地被害800か所（想定）で損壊や土砂崩落、床上床下浸水約200戸、また市内104行政区の区長報告での被災箇所は1122か所。まさにかつてない被災です。

令和元年8月の大雨災害

市長 横尾俊彦

特に道路・河川・林野での崩落や損壊などの被災が大きく、国土交通省のTEC・FORCE（緊急災害対策派遣隊）は当初2隊でしたが、ヘリコプター調査で被害の深刻さが判明し、4隊を緊急追加投入され、被災実態の調査が実施されました。家屋裏の土砂崩落や住宅内への土砂の流入、敷地内にトラック10台分以上の土砂礫石が堆積するなどもあります。

全国からのボランティアも支援要請に応じて大活躍。「とても有難い」と幾度も被災者の皆さんから聴きました。

この被災から早急な復旧・復興を進めねばなりません。確かな推進を図るため国へ要望活動も行いました。

9月半ばに麻生太郎財務大臣、武田良太内閣府防災担当大臣、小泉進次郎環境大臣ほかに直接要請しました。復旧復興はこれからが本番。全力を尽くします。